

令和5年度「アフリカ開発会議（TICAD）の横浜開催に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、
事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q10の「どのようなイベントや企画が行われたら参加したいと思いますか」の質問に対して、「アフリカの国の文化や歴史に触れる」と回答した方が78.8%と多かったことを受けて、アフリカ各国の文化や芸術等、様々な視点からアフリカを知ることができる図書資料や、アフリカ開発会議や本市とアフリカのつながりを紹介する展示を横浜市中心図書館にて開催しました。（令和5年7月19日から令和5年8月20日まで）

今後、より多くの方にアフリカ開発会議に関する本市の取組を知っていただけるよう、アンケートの結果を活用し、広報よこはまをはじめ、様々な啓発媒体を活用し周知を行っていきます。

2 アンケートを実施した感想

Q7のアフリカ開発会議を横浜に誘致することについて、66.7%の方が「横浜にとって良いこと」と回答していただいた一方で、「良いと思わない」、「どちらとも言えない」と回答した方（当質問への回答全体の32.9%）のうち、83.4%の方が「市民にとってのメリットが良くわからない」と回答をいただきました。この結果から当課として、誘致活動の周知と併せて、アフリカ開発会議が横浜で開催される「意義」を周知する必要があると認識しました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

アフリカ開発会議やアフリカとの交流に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。誘致が実現した場合には、開催に向けた機運醸成等の参考とさせていただきます。

担当：国際局国際連携課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。